

青森県立五所川原工業高等学校 第54回同窓会入会式

平成31年2月28日、第54回同窓会入会式が本校第一体育館において行われ、138名が新たな同窓生となりました。本部からは、小野副会長、鈴木副会長、一戸副会長の3名の役員が参加されました。

鈴木副会長の式辞では、「本日同窓会に入会される138名の皆さんを迎え、同窓会会員は12,766名となりました。今日は同窓会関東支部発足に関するエピソードを紹介したいと思います。昭和41年、同窓会関東支部を立ち上げようとしたが、当時は工業高校というイメージが悪く開催場所の予約も断られてしまいました。そこで当時の支部長は鈴木太左衛門初代校長に相談し、紹介された知人の口添えもあり無事に第1回関東支部同窓会を開催することができました。このように絆があれば道は開けるということを当時の支部長は熱く語ってくれたそうです。今、学校を巣立つ皆さんの周りやこれから赴く先にも沢山の同窓生がいます。先輩を頼って甘えてください。本日は同窓会入会誠にありがとうございました。」と述べられました。

三上校長先生の祝辞では、「本校の同窓会は12,600名を超える会員の歴史と伝統を誇る同窓会です。進学する人、本校で学んだ知識と技術を活かして就職する人、地元や関東・中京などそれぞれの道となりますが、五所川原工業高校の卒業生として誇りを持ち、地域や日本を支える人間になってほしいと思います。6・7月は各支部で新卒者激励会と同窓会が開催されます。是非参加し元気な姿を見せてください。」と述べられました。

記念品贈呈では、小野一志副会長より卒業証書用ファイルを生徒代表の永澤未有さん（情報技術科）へ渡されました。入会の言葉では、三橋優貴君（機械科）が「本日は、盛大な同窓会入会式を開催していただきありがとうございます。会長、校長先生から慈愛あふれる励ましのお言葉を頂いて、心から感謝申し上げます。卒業後は、全校一体大家族、無限の可能をモットーとする五所川原工業高校の同窓会員として、会員相互の親睦を深め、母校と同窓会そして工業界の発展のため努力いたします。」と述べました。参加された役員3名と職員同窓生16名を紹介して入会式を終了しました。

翌日、3月1日の卒業証書授与式において卒業証書を授与され、54回生は無限の可能を求めて社会へと旅立ちました。

- 1 期 日 平成31年2月28日（木）11時30分～
- 2 場 所 本校第一体育館
- 3 参加者 本部役員：小野一志 副会長（M14）
鈴木潤 副会長（M14）
一戸祐治 副会長（E20）
- 4 次 第
 1. 開会の言葉 一戸祐治 副会長
 2. 会長式辞 鈴木潤 副会長
 3. 学校長祝辞 三上浩 校長
 4. 記念品贈呈 小野一志 副会長
生徒代表 永澤未有（情報技術科）
 5. 入会の言葉 生徒代表 三橋優貴（機械科）
 6. 閉会の言葉 一戸祐治 副会長

